

市民参画による広町の維持管理活動が始まって20周年の連載企画②

< 広町緑地の歴史 保全から維持管理へ 2002年から2003年頃の話 >

前回の、2002年10月に鎌倉市が広町を都市林用地として全面保全することを決定した続きです。

緑地の保全が決定しても、様々な手続きのため、公的な森の維持管理が始まるまでに10年間の時間が必要でした。それでは貴重な種の消滅と緑地の荒廃が進んで、豊かな生態系を有する樹林地としての都市林の実現も危ぶまれるため、緑地の維持管理と利用のための新しい市民組織立ち上げの動きが始まります。保全から維持管理への方向転換が必要になったのです。

そこで(財)鎌倉市風致保存会の呼びかけに応えるかたちで、広町の保全に関わってきた、鎌倉の自然を守る連合会、NPO鎌倉広町・台峯の自然を守る会、広町のみどりを守る会などが、新団体の準備会設立に協力します。



里山再生の取り組みは今も続いています。

そして、2003年1月26日、総数168名の市民の参加の下、これまでの「陳情型市民運動」から「参加型市民運動」へ移行した、市と市民の協働活動を前提とした「広町の森市民協議会」(現：鎌倉広町の森市民の会の前身団体)の設立に至りました。



荒れていた谷戸で再生した畑の水路で遊ぶ子供たち。

< 広町緑地のポスターが出来ました >

広町緑地で配っている案内図とは別に広町の自然の様子を紹介したポスターを作成しました。

デザインは広町にゆかりが深く、広町をよく知るイラストレーターの向田智也氏です。広町緑地の谷戸の様子(山と山に挟まれた複数の谷地形で構成されている様子)や、山の高低、尾根の様子が変わりやすくなっていること、そして広町の名所や広町に暮らす植物や生き物たちの一部(もっともたくさん仲間達が暮らしています)が素敵なイラストで紹介されています。

この地図は管理棟の廊下にA1サイズの大きなパネルで飾られています。そしてA3サイズ限定1000枚で希望の方々に配れる分も用意しています。このポスターを飾りたい方はぜひ管理棟にお越し願います。別途公式ホームページでのダウンロードもできるようにする予定です。みなさまのおそばに広町をおいていただけたらうれしく思います。



◎新しく「花ごよみ」がリリースされました◎



< 広町緑地管理事務所からの風 >

中面でも紹介されている「花ごよみ*春*」が事務所で配布が始まっています。広町で活動する自然観察の会植物班の協力で作られたものです。年3回の季刊発行で、この広報紙が出ている頃には夏版もリリースされて配布が始まっているかと思います。ぜひ広町散歩のお供にご活用ください。

メール：info@kamakurahiomachi.org (アドレスが新しくなりました！)

電話：0467-32-5112 (水曜は要件預かりになることがあります)

鎌倉広町の森市民の会ホームページ：<https://kamakurahiomachi.org>

Facebook：鎌倉広町緑地 @kamakurahiomachi

Twitter：鎌倉広町緑地 @hiromachi22



この広報紙は、鎌倉広町の森市民の会を援助いただいている会員の方々、そして未来の会員の方々に、市民の会の活動の様子を伝えています。鎌倉広町の森市民の会は、(公財)鎌倉市公園協会と協働し「鎌倉広町パートナーズ共同事業体」として広町緑地の指定管理を担う団体です。

第62号 この夏は未来に向けた準備のときです☆

広町からの風

HIROMACHI karano KAZE

夏至も過ぎて伸びてきた昼の長さも折り返す時期となりました。暑さの本番に向けて森はますます緑を濃くして盛んに生い茂っているように見えます。谷戸ではホタルがゲンジからヘイケへと移り変わる時。市民の会は総会を経て広町緑地の次期指定管理の選定に向けて熱い夏を迎えています。

総会を終えて ~今後の広町展望~

会員の皆様の広町へのご支援に改めてお礼申し上げます。先の総会に関しましては無事終了し、里山広町を守り育てていくという基本路線の確実な継承と次期指定管理の選定に向けて市民の会単独で応募することへのご賛同を頂きました。広町の楽しい百姓仕事や自然及び地域社会の多様性の更なる向上につながる仕組みづくりを皆様と共に考え着実に実行していこうと思います。



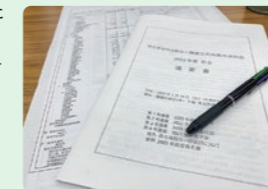
昨年来の私どもの会の改革はまだ道半ばです。5つの会の活動、地域との連携強化、会議体、広報・・・次期指定管理への応募準備をする中で私たちの活動を見直し、少しずつ改善しながら前進しております。春から夏の魔法により、より濃くなった緑の中で、新しい野花が咲き、おたま改めカエルたちは山の中や草むらへ帰って行き、ホタルたちは今年も顔を見せています。今日も子供達の元気な声があふれている広町に足をお運びください。

2023年6月 認定NPO法人鎌倉広町の森市民の会 理事長 西田哲治

< 総会報告 >

特定認定非営利活動法人 鎌倉広町の森市民の会の2023年度総会が次のように終了致しましたのでご報告いたします。

- ・日時：2022年5月28日(日) 14:00~15:00
- ・場所：腰越行政センター多目的室
- ・参加者：正会員115名中、出席者26名、委任状提出者36名、計62名の出席により過半数の出席が確認され総会は成立しました
- ・議案：1号議案：2022年度事業報告
2号議案：2022年度活動計算書と監査報告
3号議案：2023年度事業計画
4号議案：2023年度活動予算



以上の議案が満場一致で承認されました。

< 決算予算概略(単位：円) >

	2022年度決算	2023年度予算	増減
経常収益(売上)	15,877,759	17,876,000	1,998,241
経常費用(コスト)	16,064,171	17,798,249	1,734,078
収支	▲186,412	77,751	264,163

詳細は市民の会ホームページを参照願います。収益(売上)を2百万円増とする積極的な予算です。しかも前年赤字から黒字を目指します。そのため秋には、会員、寄付金メカ拡大キャンペーンを展開します。

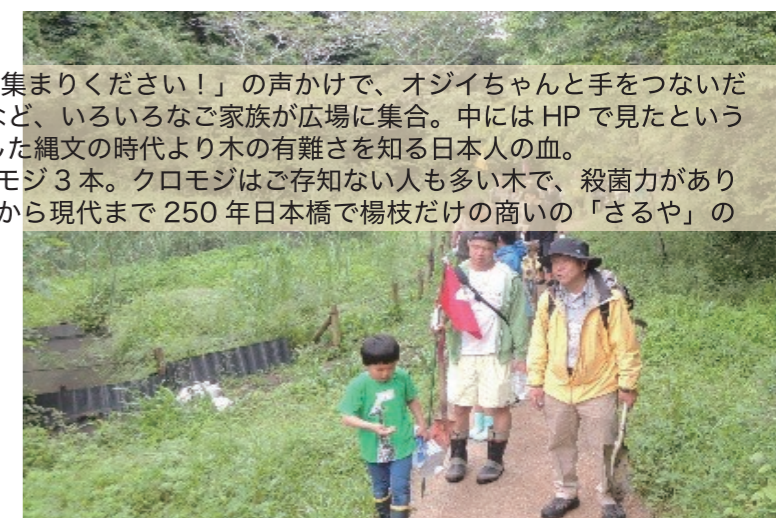
第12回植樹祭を開催しました🌲

「おやっあ〜 受付を済まされた方は各班の旗のところにお集まりください！」の声かけで、オジイちゃんと手をつないだ小さな子、おんぶ紐で背負われた子、よちよちと歩くお子様など、いろいろなご家族が広場に集合。中にはHPで見たという鶴見からの人も。山に木を植えることは、栗の木を植え定住した縄文の時代より木の有難さを知る日本人の血。

今日植樹する木は紅葉1本・椿1本・桜3本、そしてクロモジ3本。クロモジはご存知ない人も多い木で、殺菌力があり平安時代にはお姫様が歯ブラシにしていた凄い木。江戸時代から現代まで250年日本橋で楊枝だけの商いの「さるや」のクロモジで作られた楊枝をその場でご紹介。



植樹は子どもながら大シャベルで懸命の子、軍手と園芸シャベルで懸命な子、プラスチックの大シャベルで土を掘る子、また土から出てきたトカゲで大泣きをする子、ミミズを見て驚く子どもなど、家族みんなで懸命に木を植え、子ども時代に手で、目で、体で自然に接するほほえましい貴重な光景が広がる。



そして「また植えた木を見に来よう！」という声があちこちから聞こえ、帰り際には「いいイベントだったなあ！」と実感のこもったお父さんの声。多くの方々に興味を持っていただき、広町で植樹祭をして良かった、と思わず私どもも実感した第12回植樹祭だった。

森の会 酒井房次郎

<市民ボランティアの5つの会 と かまくら緑の探偵団の活動報告>

※ どの会も誰でも参加していただけます。見学、お試しも歓迎です。
 ※ それぞれの会の個性を生かした発信とさせていただきます。

田んぼの会

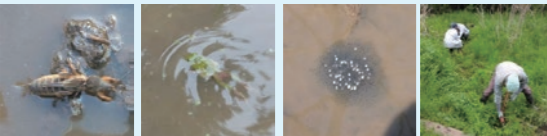
毎週土曜 9～12 時 (第一週のみ日曜日)



田んぼの様子

2月から4月までの活動を振り返ります。
 この時期は次のお米の準備作業として、田おこし・水路整備・代掻きを主にしています。
 田おこしは田んぼを乾かした状態で土を耕してひっくり返す作業です。肥料をまいて土をひっくり返すことによって土壌の「地力」が上がります。
 水路整備は、上流から落ち葉などで栄養分が充実した腐葉土を通った水を田んぼに流し込む作業です。流し込んだ水で乾いていた田んぼが潤います。
 その水分で土をおしこく状態にする作業が代掻きです。田んぼの全域に水を行き渡らせるのは非常に難しい作業でして、水量やら田んぼと田んぼの高低差の調整やら色々気を遣う必要があります。
 これらの作業中に色々な生き物たちが顔を出し、僕たちを楽しませてくれます。今年の田植えまであと少し。みなさんの参加を心待ちにしています。

田んぼの会 滝沢亮



オケラ ジュレーゲルアオガエル ヤマアカガエルの卵 田んぼへの水路整備

畑の会

毎週日曜 9～12 時



畑地に接する湿地での黄しよぶの花が終わり、麦秋(ばくしゅう)の季節を迎えています。
 5月28日に大麦の刈り取りをしました。次に小麦の収穫ですが、梅雨の季節になり雨の多い日が続いていて、次の日曜日(定例活動日)が晴れるのを祈る昨今です。大麦と小麦、どちらも昨年11月に種をまき、今年1月に児童たちの麦踏みで茎の数が増加して豊作です。(近年パンアレルギーの児童が増えていると聞き)これまでの種類の小麦の栽培を今年限りとし、来年からは古代小麦といわれるスペルトコムギの栽培に変更の予定です。
 新しい育苗温床で育てたサツマイモ苗の生長も順調で5月末で200本の定植が済み、目標の650本に向けて苗の採取と定植が続きます。
 畑での活動以外には5月27日、[豆腐作り教室]を学習センターで開き盛況でした。

畑の会 世話人 森田邦彦



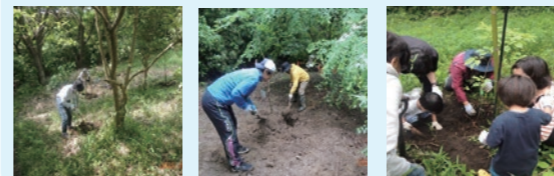
大麦の刈り取り 温床の内部 豆腐作り教室

森の会

第一・三日曜 9時30分～12時

3月の活動で森の会の最大の喜びは、10年前に植栽したヤマザクラが満開の花を付けたこと。否、それ以上の喜びがあった。満開の桜花を見上げながら、あるご家族の「この木は今大学生の息子が小学2年生の時に一緒に植樹祭で植えた木なんですよ」の声に森の会のメンバーは満面の笑みで一緒に記念撮影をパチリ。
 4月・5月は第12回植樹祭に向けての地拵え(じごしらえ・地面を整える作業)の作業。第一回の地拵えは浄化センター上緑地に生い茂る稚木(わかぎ・生えたての木)と草の全刈り。
 第二回は七里入口竹林の支柱づくり。第三の地拵えは植穴掘り。旧竹林であったため太い根茎が地下で網目状になり、唐鍬(とくわ・土を起すくわの一種)を大上段より振り下ろしながらの大変な作業。
 そして最後の準備は圃場(ほじょう・苗を育てる場所)での苗木掘り。既にモミジもツバキも3m以上の成木になっていて、左右からシャベルを根の下にねじ込み、もう一人がクレーンのように上に持ち上げ掘り出す作業。
 そして5月20日は植樹祭本番。当日の様子は一面の記事をぜひご覧ください。

森の会 代表 酒井房次郎



植樹のための草刈り作業 植え場所に植穴掘り 植樹祭当日の様子

自然観察の会

定例作業(自然環境モニタリングと保全作業)
 第三日曜 13時30分～15時30分
 班活動:各班の活動日は管理事務所問い合わせ下さい
 植物班・木曜班(緑地の手入れ) チョウ班・カエル班・ホタル班



自然観察の会では毎年、報告集を発行しています。昨年の記録が載ったものが4月に完成しました。会の活動や、各班での毎月の活動報告をまとめています。水質調査や、ホタル、カエル他の水性生物、植物、蝶など観察記録や作業の報告集です。他にも畑の会や、森の会、散策路の会の広町の自然に関わる話も掲載しています。報告集は管理事務所・市図書館で閲覧できるほか、ご希望の方には提供もしています。管理事務所に連絡ください。
 4月の定例会では水生生物調査、水質調査を行いました。他にも、ホタルの班はゲンジボタル幼虫の上陸を確認し、チョウ班は春にしか見れない蝶の観察を、カエル班は産卵調査など、ご興味のある方はご連絡ください。また、植物班では毎月の花便りの発行は無くなりましたが、季節ごとの広町の花情報パンフ春版を作りました。無料で配布しています。散策のお供にしてください。

自然観察の会 ひぐちまこ



春しか見られないツマキチョウ 水生生物調査 新しく出た「花ごよみ*春*」

散策路の会

第二日曜 9時～11時
 第四日曜 13時30分～15時30分
 ※広町パトロール
 毎火曜 9時30分～11時30分(変更の場合あり)

2023年春の活動を振り返ります。
 3月は樹名板の更新・新設作業を進めました。樹名板の在庫が減ってきたので、緑地で伐採された枝を再利用する方向で準備する予定です。また、4月は管理事務所と協働で大竹ヶ谷の観察道を整備しました。簡易橋を設置し、ササ・アオキ・ミズキのヤブを切り開き、湿地内に踏み跡を残す形で道筋を確保しました。大竹ヶ谷はホタルの一大繁殖地と聞いており、この夏のモニタリング・観察活動が少しでも安全になれば幸いです。

散策路の会 代表 渡邊敬大



設置した簡易橋 観察点の風景 樹名板の更新作業風景 切り開いたヤブ 帰路の風景

かまくら緑の探偵団 (子供向け体験活動支援事業)



5月 植樹祭の集合写真

広町緑地を主なフィールドとし、観察会や田畑での耕作体験などを通じて、子供たちに緑の大切さや楽しさを体感してもらうことを目的に活動しています。

・団員: 幼児から中学生の約260名(小学生以上は子供だけの参加も可) 団員数は2022/1/1現在
 ・活動概要: 月に1回程度、参加費無料(場合により材料費等は別)

かまくら緑の探偵団 事務局 小坂泰子



3月はみんなで広町ハイキング

4月は小雨の中でさといもの植え付け

5月は植樹祭で木を植えました

探偵団の活動詳細は、
 鎌倉広町の森市民の会ホームページ
 かまくら緑の探偵団のコーナーでどうぞ



先のイベントはこちらで



<2023年4～6月のイベントの予定>

子供向け企画
7月16日(日)
「水辺の生き物観察会」
 自然観察の会 主催
 9時15分～11時30分位

※仮日程なのでご確認ください
8月20日(日)
「藍染教室」
 畑の会 主催
 13時～15時位
 定員25名・要予約
 参加費800～1500円
 (サイズによって)

子供向け企画
9月10日(日)
「かかしづくり」
 田んぼの会・市民の会 共催
 9時15分～11時30分位

9月17日(日)
秋の広町で「野草料理を楽しむ会」
 市民の会 主催
 10時～12時位
 定員10名・要予約
 参加費1000円

2023年 7月 8月 9月

<申込・問合せ>
 どなたでも参加出来ます。
 申込み・問合せは 管理事務所窓口 か 以下の宛先までお気軽にどうぞ。
 電話 0467-32-5112
 メール info@kamakurahiomachi.org

<お願い>
 マスク着用、咳エチケット、手指消毒など感染防止にご協力ください。

8月5日(土)
里山さんぽ「夜の昆虫観察会」
 自然観察の会 主催
 18時～20時位
 定員25名・要予約

8月27日(日)
里山さんぽ「夏のチョウ観察会」
 自然観察の会 主催
 9時30分～11時30分位

9月23日(土)
里山さんぽ「秋の植物観察会」
 自然観察の会 植物班 主催
 18時～20時位